

# 「Unit 5 Universal Design」

本単元で育成する資質・能力

つながる知識、思考力・判断力・表現力

- 1 授業者 沖 康孝
- 2 日時 2017年（平成29年）11月10日（金）
- 3 場所 2年2組教室
- 4 学級 2年2組 36名
- 5 単元名 「Unit 5 Universal Design」

## 単元について

### ○単元観

本単元は、昨今日常生活に浸透しつつあるユニバーサルデザインが紹介されている教材である。本文を通して、製品化された事例、身近な施設での採用例などに生徒の目を向けさせたい。

言語材料では、接続詞の *if.../when.../because.../I think[know]* などに続く接続詞の *that* などが扱われる。これらを用いて、ある条件で何をするか述べたり、自分の意見とその理由を述べたり、どんなときに何をしたかを述べたりする場面の表現を習得させる言語活動を展開できる。

最終的には、実際にオーストラリアの中学生に根拠を基に自分たちの意見を伝える手紙を書かせるというパフォーマンス課題を設定した。外国の生徒に伝えたい意見や思いを膨らませ、それらを伝えるためには、どんな表現や言語材料が必要かということや、これまでに学習してきたことでどんなことが表現できるかなどを考えさせながら、つながる知識や思考力・判断力・表現力を育てていきたい。

### ○生徒観

この学年の生徒は入学後、最初の授業でのアンケートに6割以上の生徒が英語に対して苦手意識を持っていると答えたため、まずはその意識改革のため、ゲームや活動を取り入れながら、「できる」という自信につなげるためにスモールステップで授業を進めてきた。また、英語は言語であり、相手がいて初めて成り立つものであるためペアワークは毎時間取り入れてきた。その結果、生徒アンケートの肯定的評価は以下の通りであり、英語に対しての苦手意識は概ね改善され、将来のために英語を勉強するというモチベーションも高い。

質問項目	肯定的%
・英語の授業は楽しいですか？	95.7%
・英語の授業は分かりやすいですか？	95.7%
・英語を声に出して話すことに抵抗はないですか？	91.3%
・英語は将来役立つものだと思いますか？	97.1%

また、6月に行った「基礎・基本」定着状況調査の結果、教科全体の通過率は83.3%であり、概ね英語の基礎は身につけてきている。しかし、いくつかの課題点も明らかになった。最も通過率の低かった問題は以下の通りである。

問題	通過率	正答率	準正答率	誤答率	無答率
7 1	42.6%	42.6%	-	57.4%	0%
1 1 1	52.9%	20.6%	32.4%	47.1%	0%
1 2	52.9%	19.1%	33.8%	44.1%	2.9%

⑦ 次の 1・2 の会話文の ( ) に当てはまる最も適切な英文を、それぞれ下のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

- 1 A: Hello, Tomoko.  
B: Hi, Kathy. Let's go to a piano concert.  
A: Great. ( )  
B: It's July 7.

ア When is it? イ What is it? ウ When do you play it? エ What do you play?

⑧ ① (表と英文を見て答える問題)

- 1 マイクとエミの会話を読んで、マイクが下線部①を言った理由を、日本語で書きなさい。

⑧ ② あなたは学級の英語新聞で「好きなもの紹介」の記事を書くことになりました。あなたの好きなもの・こと(スポーツ、音楽、本など)を1つ取り上げ、意味のつながりを考えながら、英文をできるだけたくさん(3文以上)書きなさい。ただし、下の□の中の語を1つ以上使うこと。  
なお、ピリオドまでを1文とします。

it, they, their, them, he, his, she, her

以上の結果から、生徒のつまずきの状況として挙げられるのは以下の通りである。

- ・⑦については「時」を尋ねていることには気付いているが、今まで扱った例文や練習問題では、**When** と一般動詞と一緒に扱うものばかりだったため、深く考えることなく、ウを選択している。
- ・⑧ ①については表の読みとりが不十分、あるいは答えが意味の通る日本語になっていない、問題文の指示が理解できておらず、下線部①をそのまま日本語訳にしている。
- ・⑧ ②については① 1つの話題について、② 3文以上、③ 代名詞を使うという3つの条件を満たしていない、意味のつながりを考えたまとまりのある文を書くことに慣れていない。

これらの課題点から、指示文をしっかりと読みとれていない、つまり課題を正しく受け止め、根拠を基に判断する力や、思考・判断に至った過程を振り返り、クリティカルに考える力がまだ弱い生徒が多いことが分かる。実際に、これらの問題を解けた生徒の中には、これまでに行事やクラスのリーダーなどを経験し、主体的に考えることを重ねてきた生徒が多かった。そのため、授業の中においても、主体的にまたクリティカルに考える場を多く設定していきたい。

## ○指導観

本単元では、いくつかの条件を満たして、つながりを意識したまとまりのある英文を書かせるために、パフォーマンス課題として「グループで協力して、オーストラリアの中学生に自分たちの意見を根拠と共に伝える手紙を書こう」というライティング活動を設定している。その達成に向けて、以下の7点について指導の工夫を行う。

- ①円滑なグループワークが行えるよう、毎時間グループ内での多様なペアワークを取り入れる。
- ②教科書にある参考になりそうな表現が使えるよう、登場人物になりきってペアーディングさせる。
- ③接続詞を使いこなせるよう、身近な話題についてのアクティビティを行う。
- ④実際の言語使用場面とつながり、生徒の活動意欲が高まるような場面設定を行う。
- ⑤アクティビティなどでは、多様な条件設定を行い、それらを意識させる。
- ⑥多様な例文や練習問題を行う。
- ⑦生徒が書いた英文をペアで相互チェックさせることで、条件を満たしているか、つまずきやすいポイントやピリオド忘れなどのケアレスミスがないかということに注意を向けさせる。

本校の育てようとする資質・能力の内容としては、「既習事項」とのつながりのある知識と課題を正しく受け止め、根拠を基に判断し、自分の考えを相手に分かりやすく表現する力を重点とする。

## 単元の目標

- (1) 既習事項を用いて、自分たちの意見を根拠と共に伝える手紙を書く。
- (2) グループで協力して、間違いを恐れず積極的に書く。
- (3) 接続詞 if, that, when, because を用いた文の構造を理解する。

## 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①グループで協力して、間違いを恐れず積極的に書いている。	①既習事項を用いて、根拠を添えて自分の意見を伝える英文を書くことができる。	/	①接続詞 if を用いた文の構造を理解している。 ②接続詞 that を用いた文の構造を理解している。 ③接続詞 when を用いた文の構造を理解している。 ④接続詞 because を用いた文の構造を理解している。

## 単元として育てたい資質・能力のつながり

本校の育てようとする資質・能力の内容			単元として育てたい資質・能力を身につけた子どもの姿
知識	つながる知識	知 「既習事項」とのつながりのある知識 「他教科・領域」とのつながりのある知識 「地域・社会」「将来への活用」とのつながりのある知識	文法的な既習事項を用いて、自分の意見をつながりを考えてまとまりのある英文で書くことができる。
スキル	思考力 判断力 表現力	表 課題を正しく受け止め、目的に応じて考え、根拠を基に判断する力 思考・判断に至った過程を振り返り、クリティカルに考える力 自分の考えを相手に納得できるよう、分かりやすく表現する力	手紙を書くときの条件をしっかりと満たした上で、根拠 (because) を添えて自分の意見を8文以上で表現できる。
意欲・態度	主体性	主 自ら課題を発見し、よりよく解決しようとする 時と場を踏まえ、目的に応じて自ら判断し、行動しようとする	
価値観・倫理観	深める力	深 「 <u>忖む</u> (たたずむ)こと、「 <u>はっと気づく</u> 」こと ----- 広い視野と細かな配慮を持って物事を捉える力 表面に見えていないものを感じ取り、深く思考を働かせる力 創造的な思考を働かせ、新たな価値を発見・創造しようとする力	
	共感力	共 「 <u>こだまし</u> 、 <u>うなづく</u> 」こと ----- 他者意見を真摯に聴き、受け止め、相手目線で考える 関わり合いの中で、「思いやり・優しさ・助け合いの心」を持って行動する 仲間と協働し、ともに高まろうとする	

## 単元の終末におけるパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準	
<p>「グループで協力して、オーストラリアの中学生に自分たちの意見を根拠と共に伝える手紙を書こう！」</p> <p>前回手紙で自己紹介をしたオーストラリアの Bacchus Marsh Grammar School の生徒に2回目の手紙を書きます。次のうちからテーマを選び、条件に従って自分たちの意見を伝えましょう。</p> <p><b>【テーマ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分達の町のお勧めスポット</li> <li>・自分達の好きな有名人（もの・こと）</li> <li>・日本の良い所</li> </ul> <p><b>【条件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8文以上</li> <li>・[if, I think, when] のどれか1つは必ず使うこと</li> <li>・because を使って理由を説明すること</li> <li>・相手に対して自分の意見とつながりのある質問を入れること</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の表現を用いて、条件を満たした英文を書いており、英語表現としても適切である。</li> <li>・読み手に正しく伝わるよう、文と文のつながりなどに注意して文章を書いている。</li> <li>・辞書を使うなど、グループで協力して8以上の文量を積極的に書いている。</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の表現を用いて、条件を満たした英文を書いているが、英語表現として内容理解に差し障りがない程度の間違ひがある。</li> <li>・辞書を使うなど、グループで協力して積極的に書いている。</li> </ul>
	C	Bに達しない。

### 【手紙の例（A評価）】

November 22
Dear ○○, △△ and □□,
Hi. How are you? We will write about Japanese manga today. We have many popular manga in Japan. We like "One Piece". It is very interesting. The story is about pirates. But they are tender-hearted and they move us. Our favorite character is Luffy because he is very kind and courageous. We often read "One Piece" when we have free time.
We have some questions. Do you know any Japanese manga? And what do you often do when you have free time?
Please write back if you have time.
Your friends, ●●, ▲▲, ■■ and ◆◆

## 指導と評価の計画

時	学習過程	学習内容	評 価				評価規準 (評価方法)	◆単元として育てたい資質・能力を身につけた子どもの姿 【資質・能力】
			関	表	理	知		
1	課題設定・情報の収集	○本単元の目標とパフォーマンス課題を確認し学習の見通しを持つ。(手紙の例を日本語で示し、今後学習する表現等の確認をする。) ○本単元で身に付ける文の構造を理解する。 ・接続詞 if を用いた英文の用法を理解する。				◎	エー① (後日ペーパーテスト)	
2	整理・分析	○ある条件で何をするかを述べるができる。 ・教科書やワークシート(沼隈・福山・広島のお薦めスポット)を用いて、ifの用法に対する理解を深める。				◎	エー① (後日ペーパーテスト)	接続詞 if を用いて英文を書くことができる。 【つながる知識】
3	情報の収集	○本単元で身に付ける文の構造を理解する。 ・接続詞 that を用いた英文の用法を理解する。				◎	エー② (後日ペーパーテスト)	
4	整理・分析	○スポーツや教科に対しての自分の考えを述べるができる。 ・教科書の登場人物になりきって、意味を考えながら、ペアリーディングを行う。 ・I think that を使ってペアでスポーツや教科についての自分の考えを伝え合う。				◎	エー② (後日ペーパーテスト)	接続詞 that を用いて英文を書くことができる。 【つながる知識】
5	情報の収集	○本単元で身に付ける文の構造を理解する。 ・接続詞 when を用いた英文の用法を理解する。				◎	エー③ (後日ペーパーテスト)	
6 本時	整理・分析	○接続詞 when の用法についての理解を深め、どんなときに何をするかを述べるができる。 ・暇なときや、雨が降った時に何をするかなどのインタビュー活動を行う。				◎	エー③ (後日ペーパーテスト)	接続詞 when を用いて英文を書くことができる。 【つながる知識】

7	情報の収集	<p>○本単元で身に付ける文の構造を理解する。</p> <p>・接続詞 because を用いた英文の用法を理解する。</p>				◎	エー④ (後日ペーパーテスト)	
8	整理・分析	<p>○身近な話題について自分の意見を述べ、その理由を述べることができる。</p> <p>・教科書やワークシートを用いて, because の用法に対する理解を深める。</p> <p>・オーストラリアの生徒への手紙にのせる自分たちの意見とその理由を考える。</p>				◎	エー④ (後日ペーパーテスト)	接続詞 because を用いて英文を書くことができる。 <b>【つながる知識】</b>
9	創造・表現 まとめ	<p>○グループで協力して、オーストラリアの生徒に自分たちの意見を根拠と共に伝える手紙を書く。</p> <p>・単元始めに示した日本語の手紙例を英語で表す。</p> <p>・Unit 5 で行った活動や、教科書本文、ワークシートなどを参考にグループで協力して手紙を書く。</p>	○	◎			イー① (ワークシートチェック)  アー① (活動の観察)	◆文法的な既習事項を用いて、自分の意見を伝える英文を書くことができる。 <b>【つながる知識】</b>
10	実行・振り返り	<p>○筆記テスト</p> <p>・接続詞 if, that, when, because についての理解をみる問題を行う。</p> <p>○前時に書いた手紙を実際にオーストラリアに送るために、もう一度見直し、改善する。</p>				◎	エー①, ②, ③, ④ (ペーパーテスト)	◆手紙を書くときの条件をしっかりと満たした上で、根拠を添えて自分の意見を表現できる。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b>

## 本時の学習

- (1) 本時の目標：接続詞 **when** を用いて、暇な時や雨が降った時に何をするのかを表現することができる。
- (2) 本時で育てたい資質・能力：接続詞 **when** を用いて英文を書くことができる。【つながる知識】
- (3) 準備物：ワークシート
- (4) 学習展開：（6 限目/10）

整理・分析

	学 習 活 動	指導上の留意点 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (評価方法) 【資質・能力の評価】
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Greeting, Q&amp;A</li> <li>○Word Input (英単語)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで新出単語の確認を行う</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇英語を学習する雰囲気を作れるよう、テンポ良く行う。</li> <li>◇前回の自分の点数を参考に各自目標点を書かせる。</li> <li>◇ペアで向かい合って問題を出し合わせる。</li> </ul>	
<p><b>【ねらい】</b> 暇なときや、雨が降ったときは何をするのかインタビューしてみよう！ さらに、相手の答えにプラス一言付け加えよう！</p>			
展開 (34分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Review</li> <li>○Sentence Input (基本文)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで基本文を確認する</li> </ul> </li> <li>○Textbook P.73                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本練習</li> <li>・Q&amp;A</li> </ul> </li> <li>○Activity                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・暇なときや、雨が降ったときは何をするのかたずねて、相手の答えにプラス一言加える</li> </ul> </li> </ul> <p>A: Hi. May I ask you a question? B: Yes. A: What do you do when it's rainy? (when you have free time) B: Well... I often read books A: What kind of book do you read? B: I read comic books like Naruto. A: Oh, I like Naruto, too. Thank you. B: You're welcome.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇短時間で既習事項の確認をする。</li> <li>◇分からない時は、ペアでヒントを出し合わせ、ヒントの出し方を工夫しているペアがあれば、全体に紹介する。</li> <li>◆相手へのヒントの出し方次第で自分自身の理解も深められることをおさえ、ペアでの教え合いを推奨する。</li> <li>◇「手紙のやりとりをしているオーストラリアの生徒にインタビューをする」つもりで行わせる。</li> <li>◇インタビューの際に気を付けるポイント (相手の目を見て、なるべくワークシートを見ないで、相づちを打ちながらなど) を前もってワークシートで確認しておき、インタビュー後に自分のインタビューレベルを自己評価させる。</li> <li>◆キーセンテンスは慣れるまで口頭練習を行う。</li> <li>◆どうしても活動が苦手な生徒にはヒントカードを渡す。</li> </ul>	<p>接続詞 <b>when</b> を用いた文の構造を理解している。 エー① (後日ペーパーテスト)</p>
まとめ (6分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Writing                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューをもとに友だちが暇なときに何をするのかを <b>when</b> を用いて書かせる。</li> </ul> </li> <li>○振り返りシート</li> <li>○宿題の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ペアでお互い書いた英文をチェックさせ、間違いがあれば書き直させる。</li> <li>◇数名を指名し、書いた英文を全体で交流する。</li> <li>◇振り返りシートを使って、振り返りを書かせ、全体で交流する。</li> </ul>	<p>接続詞 <b>when</b> を用いて英文を書くことができる 【つながる知識】</p>